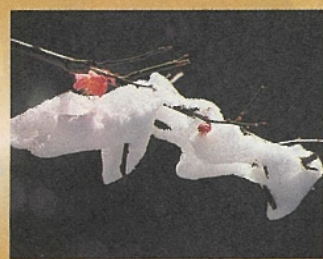


そなえる



1995 No. 88

1995年(平成7)1月20日発行
発行/川崎市
編集/土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
電話(044)200-2111 内線2840

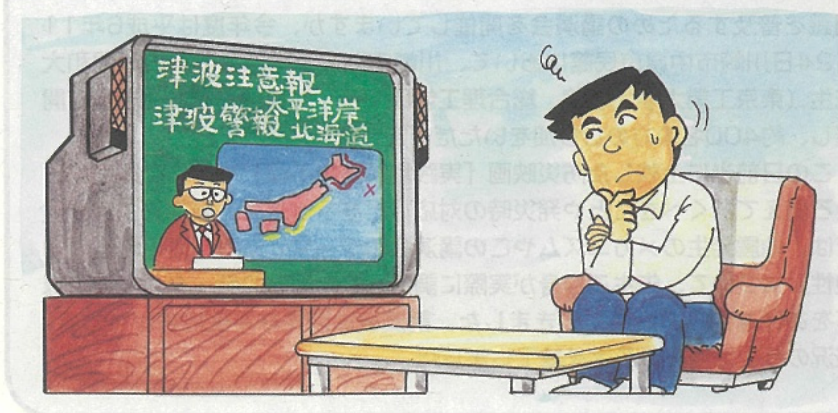
「知っている」と「知らない」
「気にする」と「気にしない」
「行動する」と「行動しない」
 では
大違い

川崎市では、本紙そなえるや防災講演会などで、「災害や防災について知っていただくこと(防災知識の普及)、関心を持ち、より意識を高めていただくこと(防災意識の啓発・高揚)、正しく積極的に行動すること(防災行動力の向上)」の大切さをたびたびお伝えしてきました。今回はその大切さについて、過去の実例をあげながらあらためてお話をさせていただきます。



平成3年の台風19号では雨による河川の氾濫や崖崩れはほとんどありませんでしたが、30年ぶりといわれる大型の非常に強い風台風で、倒木の下敷きになったり飛んできた看板や瓦に当たるなどして、全国で63名の方が亡くなりました。台風は事前に進路や規模がわかり、その情報はテレビなどで容易に得ることができます。この台風の場合も十分警戒を要することが再三報道されていましたが、軽く考えて屋外にいたために犠牲となってしまった方が多かったです。昭和20年~30年代には大型で強い台風がしばしば日本を襲いましたが、最近はそのような台風を体験する機会がなかったため、そのこわさを知る人が少なくなってしまったこと、また、台風情報を聞いても知識がなければその内容(中心気圧 940hpa 最大風速50m/s 時間雨量 45mmなど)が具体的にどの程度のものであるかをイメージしにくいということが問題でしょう。

昭和58年の日本海中部地震では、死者104名のうち100名が津波によるものですが、後日秋田県能代市で行ったアンケート調査によれば、約9割の方が津波のことなど意識もせず、警報を聞いた後も自分のところは心配ないだろうと考えていたそうです。不幸にして犠牲となってしまった方たちも、まさか津波が襲って来るとは思ってもいなかったか来たとしてもたいしたことはないと考えていたのではないのでしょうか。いずれにしても津波についての知識とその知識に基づく警戒心があれば、正しい行動がとれたものと思われま。



これらの事例から、被害が発生してしまう原因の一端は、私たち自身の中にもあることがわかります。知識がないために災害そのものの発生や恐ろしさが意識できない、知識はあってもたいしたことはない和高をくくってしまう、自分のところには起きないと思い込んでしまう、行動にまでは至らないなど「知らない、気にしない、行動しない」の「3ない」をなくすことの大切さを再認識されるようお願いします。

“絶対”

てんぷら油の火災には 水を掛けないでください



写真から想像してください
もし、これが、我が家の台所、だったら、
大切な財産も一瞬にして失うかも知れません。

火の付いたてんぷら油に水をかけた実験結果

★てんぷら油火災を起こさないために
てんぷらを揚げている時は、絶対にその場を離れない、
離れるときは、必ず火を消しましょう。

★揚げ物をしている時の火災事例
・テレビに見入ってしまう
・来客の応接で長話をする
・長電話
・トイレに入る
・子供の世話
『コンロに火が付いていることを忘れないでください』

★初期消火には、次のものが有効です。
・消火器
・濡れたシーツ
・鍋ぶた

★消防訓練等に参加し、正しい初期消火
方法を体験し有事に備えましょう。

春季火災予防運動 3月1日～3月7日
火事を防ぐのは、あなたです

問い合わせ 消防局予防課 ☎244-8351

あなたの建物は安全ですか？

3月1日から3月7日は
「春の建築物防災週間」です

毎年わが国では、火災・台風・地震・がけ崩れなどによって、建築物はもとより多くの人命が失われています。川崎市建築局では、このような被害を少しでも減らすため、例年春と秋の「建築物防災週間」を通じて、不特定多数の人が集まる建築物を対象に、防災パトロールを実施しています。市民の皆さんもご自宅や周辺の建築物について次のことに注意してくださいようお願いいたします。

- ・建物の外壁は安全ですか
- ・ブロック塀等に異常（傾きや破損）はありませんか
- ・階段や屋上等の手すりは腐食していませんか
- ・防火シャッターや防火戸のまわりに物が置かれていませんか
- ・防火戸や避難階段・通路の点検をしていますか



北海道東方沖地震による建築物の被害

防災講演会が開催されました

川崎市では例年市民の皆さんや市職員等を対象に、災害や防災に関する知識を普及するための講演会を開催していますが、今年度は平成6年11月24日川崎市中原市民館において、川崎市地震専門部会委員の瀬尾和大先生（東京工業大学大学院 総合理工学研究所 助教授）をお招きして開催し、約400名の方のご参加をいただきました。

この日前半に上映した防災映画「実践地震防災手帳」では、ご家庭で日ごろ備えておくべきことや発災時の対応などをうったえ、瀬尾先生の講演では、地震発生メカニズムやこの講演会のテーマである「直下地震の切迫性」について、先生ご自身が実際に調査された地震のデータや被害記録等をあげながらお話いただきました。講演後は活発な質疑応答が行われ、盛況のうちに当日の予定を終了しました。

問い合わせ
建築局指導部審査課 ☎200-3017